

平成 25 年 5 月 26 日

平成 24 年度 事業報告書

1. 会員の状況

平成 25 年 3 月 31 日現在の会員数 **205 名**

個人会員(172 名)

一般会員：	役員	理事	10 名
		監事	2 名
	評議員		40 名
	普通会员		77 名
	学生会員 A		6 名
	学生会員 B		27 名
名誉会員：			2 名
顧問：			8 名

法人会員 (33 件)

購読会員：		5 件
取次会員		2 件
協賛会員：		0 件
寄 贈：		26 件 (うち国外 14 件)

2. 事業

(1) 年会に関する事項

第 4 条 1 号に基づき、財団法人染色体学会 2012 年度 (第 63 回) 年会を開催した。

期間：平成 24 年 10 月 5 日 (金) ~ 7 日 (日)

場所：旭川市大雪クリスタルホール

年会参加者数：85 名

演題数: 37 題

一般講演 ワークショップ (口頭発表)	: 16 題
一般講演 ポスター発表	: 9 題
市民公開講座	: 5 題
公開シンポジウム	: 4 題
分科会	: 3 題

(2) 会誌に関する事項

第 4 条 2 号に基づき Chromosome Science Vol.14 1&2・3&4、Vol.15 1&2 を発行した。また、学会員からの応募作品による「染色体と生物個体」を掲載したカレンダーを作成し発行した。

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰に関する事項

第4条3号に基づき、染色体研究を活発に行い将来の成果が期待される若い研究者を対象に染色体学会賞の授与を検討した結果、2012年度染色体学会賞は、対象者なしとなった。

また、今年度は学会誌 Chromosome Science に掲載された論文のうち特に優れた研究に対して送られる論文賞の授与を検討した結果、以下の3編に決定し、年会時に表彰を行った。

- 1) An X-chromosome RNA-binding motif protein (RBMX) is required for proper kinetochore formation. Chromosome Science 14 (1&2): 17-21 (2011).
Mei Hann Lee, Linyen Lin, Hideyuki Takata, Akihiko Morimoto, Susumu Uchiyama, Sachihito Matsunaga and Kiichi Fukui
- 2) Homology of two alien chromosomes during meiosis in wheat. Chromosome Science 14(3&4): 45-52 (2011).
Seong-Woo Cho, Yosuke Moritama, Takayoshi Ishii, Masahiro Kishii, Hiroyuki Tanaka, Amin Elsadig Eltayeb and Hisashi Tsujimoto
- 3) Mitotic chromosome coating spheres, MiCCS: Distinguished components of RNA molecules surrounding mitotic chromosomes in mammalian cells. Chromosome Science 13(3&4): 35-43 (2010).
Marin Chiba and Hideyuki Tanabe

(4) (財)染色体学会ホームページの更新

学会の活動の広報および社会への学術的な知識普及のためにホームページの掲載内容の充実を図り、情報の提供を行った。

(5) 総会・評議員会・理事会の開催

平成24年5月26日(土)第24回 財団法人染色体学会評議員会開催

(於: アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 4階401号室)

平成24年5月26日(土)第112回 財団法人染色体学会理事会

(於: アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 4階401号室)

平成25年10月5日(金)第23回 財団法人染色体学会評議員会

(於: 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場 レセプション室)

平成25年10月5日(金)第113回 財団法人染色体学会理事会

(於: 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場 第一会議室)

(6) 一般財団法人移行に向け、規定に基づき「最初の評議員」の選定を行い、承認された。

(7) 平成25年1月に内閣府に対し、一般財団法人移行認定申請を行った。